

岩手県立伊保内高等学校PTA

<地域と連携したPTA活動>

所在地:岩手県九戸郡九戸村
全校生徒数:76名

学校の特徴

昭和24年4月に岩手県立福岡高等学校伊保内分校として開校。昭和48年に岩手県立伊保内高等学校として独立。令和元年に創立70周年記念式典を挙げる。小規模校ではあるが、地域の声に応えながらボランティア活動から郷土芸能委員会の活動、40年以上続く「地域子ども読書会(読み聞かせ)」、地元の特別養護老人ホームを訪問しての読み聞かせや郷土芸能を披露するなど、地域と密着した学校である。

地域の特徴

九戸村は、北上山系の最北端で岩手県北部に位置する。村の70%以上が山林原野で占め、県立自然公園折爪岳を抱え季節の移り変わりの美しい自然豊かな村である。人口は約6,000人で村の基幹産業は、プロイラー産業で従事者が非常に多い。

活動内容

PTA役員中心にPTA活動を進めている。役員決定(引き継ぎ)は、退任する役員が担当地区から候補者を選出し総会にはかるようにしている。各種行事についても案内文書の他に役員から一般会員へ声かけをしながら、一般会員も積極的に参加して盛り上げている。

・PTA総会 ・花壇への植栽活動 ・スポーツ大会時豚汁提供 ・くのへ祭りでの流し踊り参加 ・伊高祭バザー・食堂運営 ・伊高通信(年2回発行)

特徴的活動

会員による植栽活動

毎年5月から6月の間の休日に会員に呼びかけ玄関周辺の花壇に花を植栽して生徒や職員の心を癒やしている。



くのへ祭り流し踊り参加

毎年8月17日～19日の3日間くのへ祭りが実施されているが、18日の夕方から村内のメイン通りを屋台を引きながら保護者、生徒、卒業生が一緒になり、流し踊りを踊りながら高校をPRしている。



伊高祭バザー・食堂運営

食堂は、母親会員が中心となりメニューを決めて作り、バザーは事前に地元業者にバザー品提供のお願い文書を送付して、役員や健前育成委員がバザー品の回収と陳列・販売を担当し、売り上げを生徒会に寄付している。



成果

・PTA活動については、多くの会員が協力していただいているため盛大に開催することができている。各活動では、役員を中心にして活動し、様々な問題にも臨機応変に対応して、解決している。

課題

・どこの地域でも問題になってきている少子化により、生徒数の減少=PTA会員数の減少となっており、止めることができない状況である。しかし、生徒を含め職員・会員が一緒になってできることを考え、独自の行事等を考え、生徒も保護者も楽しい高校生活を実現できるように検討していきたい。